

アイダのバリューチェーン

当社は研究開発、ソリューション提案、設計、計画・調達、製造、アフターサービスのそれぞれのバリューチェーンにおける取り組みを強化し、アイダならではの強みを活かすことで、事業活動を強固なものにしています。新たなニーズを取り込み、独自の技術開発力をもって社会課題の解決に貢献する付加価値の高い製品・サービスを社会にお届けすることで企業価値向上を実現していきます。



顧客の抱える課題 労働力不足 環境対応 技術伝承 生産効率向上 品質向上 DX化 等

社会課題・事業環境の変化 社会・環境問題 少子高齢化 グローバル化 等

研究開発

ソリューション提案

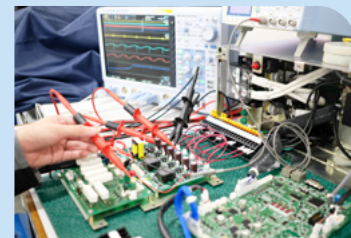
設計

計画・調達

製造

アフターサービス

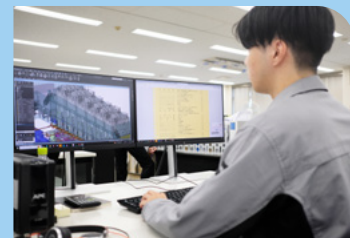
概要



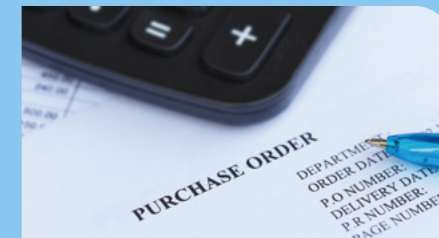
多様化する外部環境に対応するプレス機械・周辺装置の研究開発、素材研究、解析技術、工法開発、ロボット開発等を行い、既存技術の発展や市場にない製品の先行開発等で価値創造に繋げる活動。



顧客窓口として最適な生産システムの提案、引き合い対応、見積書作成等を行い受注に結びつける活動。社内の設計、製造部門等と連携し、工法や周辺装置も含めたトータルソリューションを提案。



お客さまに納品するプレス機械を中心に、材料供給装置、搬送ロボット等、プレス成形システムを構成する製品の設計及びこれらの製品に特化した電子装置、サーボシステム、DXシステムの設計等を行う活動。



計画：オーダーメイド製品が中心で、案件ごとに異なる生産工程や納期を策定し、機械の稼働状況や人繰りを見ながら各部署と連携しつつ進捗管理を行う。海外生産拠点との共同生産も調整。
調達：材料や部品も個性が強いため、サプライヤーや調達品等は品質を優先して選定する。また、海外生産拠点と連携を取りながら海外サプライヤーからの調達も行う。



個別仕様が多く、設計部門や調達部門との連携が重要。繁忙に応じて加工機や人員を臨機応変に割り振り、リソース配分を最適化。独立した品質保証部が完成品の品質を確認。プレス機械だけでなく周辺自動機も内製化。世界5極の生産拠点を構える。



多種多様なプレス機械に加え自動機や制御装置等、多岐にわたる知識とスキルを持つエンジニアが設計部門や製造部門と連携し、メンテナンス、予防保全、修理等の総合的な技術サポートを提供。レトロフィットは設計要素が高く、専門人材を擁する。

競争力の源泉

- 自社に金型部門、システム開発部門、設計部門、製造部門等を有する開発環境
- 100年以上にわたる技術の実績と蓄積したデータ
- 顧客・外部との連携・共同開発体制を通じた製品開発力
- 自動化、脱炭素、AI、IoT等デジタル技術の開発と製品への展開

- 国内・海外のお客さまへの豊富な導入事例
- 世界5極の生産体制と世界39ヶ所に展開する販売・サービス網による幅広いネットワーク
- 先進的な研究開発への取り組みで培われた先見性
- 業界のリーディングカンパニーとしてのブランド力

- 100年以上脈々と受け継がれ、進化してきた技術・ノウハウ
- 高品質、高精度、高剛性を追求したモノづくりの設計思想
- ユーザーニーズを満たす最適な機構、構造、機能を実現するエンジニアリング力

- お客さまの希望納期を実現するための生産計画や準備体制
- グローバル調達体制による最適地調達
- サプライヤーとの公正・公平・透明な取引により蓄積された信頼関係
- サプライヤーと一体となった品質管理・生産性向上の取り組み

- 日本、中国、マレーシア、アメリカ、イタリアの世界5極で展開する強固なグローバル生産体制による最適地生産システムの確立
- 徹底した製造現場のトレーサビリティ管理による世界最高水準の品質維持
- 蓄積されてきたモノづくりのノウハウと進化する現場力

- 開発からアフターサービスまでの一貫体制による優位性
- 世界19ヶ国、39ヶ所の直営の販売・サービス拠点からの充実したサポート体制
- 環境負荷低減に繋がるレトロフィット、オーバーホールの提供

課題認識

- 環境対応製品の拡充
- AI、デジタル技術を駆使した新技術の開発
- 開発エンジニアの確保、育成 等

- 潜在顧客の獲得
- 営業部門の人財開発（グローバル化、技術力向上等）
- 部門間連携の強化
- 価格競争 等

- タイムリーな新商品投入
- 高性能と低コストの両立
- 技術者育成と人財確保
- 自動化システムの拡充 等

- 地政学リスクに対応するグローバル調達マネジメントの強化
- 安定調達に向けたBCPの強化 等

- グローバルベースでの品質の維持管理
- 生産現場におけるDX化推進
- 海外生産拠点での内製化率強化 等

- アフターサービスのDX化推進
- サービスエンジニアの人財育成
- お客さまとの信頼関係構築の強化 等